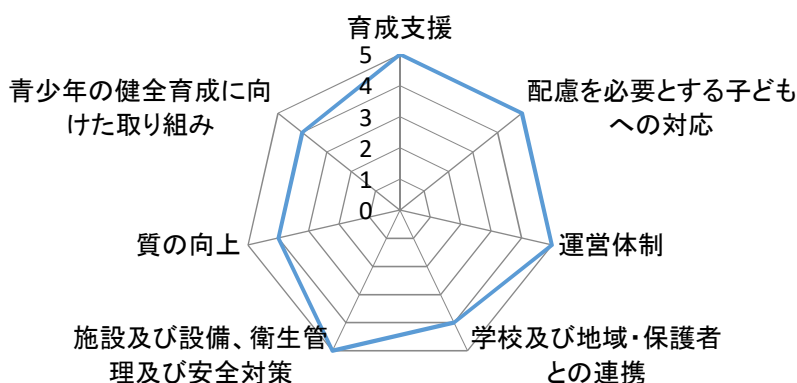




＜クラブ評価＞

No	項目	内容
1	育成支援	基本的な生活習慣が身につけられるよう、学習・おやつ・遊びの後の着替えやうがい手洗いなども、子ども達が協力し、取り組めるよう援助している。
2	配慮を要する子どもへの対応	配慮が必要な児童を理解するために、職員は研修会に参加し、受け入れに努めている。
3	運営体制	市の運営基準を遵守し、定期的に自己評価を行いながら、適正に運営するよう努めている。
4	学校及び地域・保護者との連携	保護者とは入所の面接時のコミュニケーションを密に図り、連携を取りながら子供たちの成長を見守っていきたいと思っている。学校とも必要に応じて連絡を取り合い、児童のスムーズな受け入れに繋げている。
5	施設及び設備・衛生管理及び安全対策	自主研修でAEDの使い方を定期的に学んだり、児童に対して消防を交えての避難訓練を行ったり、職員児童共に安全教育を行っている。
	訓練実施回数	12回
6	質の向上	人数制限がある研修もクラブ内での勉強会を通して情報も共有し、支援員の資質向上に努めた。
	1人当り研修参加回数	2.8回
7	青少年の健全育成に向けた取り組み	地域のゴミ拾いや、落ち葉集めなどを子どもたちと行い、自分の住む街への思いやりの心を育てる。また、グループ活動を頻繁に行い、異年齢の児童への配慮の気持ちを育てている。
	フローラルこまつ推進団体	○
	ボランティア活動実施回数	5回